



交通ルールを守ること

一人ひとりのその意識が

「事故のないまち」への第一歩

県の交通事故発生
件数が全国で2位と
なり、狭山警察署管内
でも既に6件の死亡
事故が発生し、尊い命が失わ
れています。市では、交通事故
防止のため、交通安全運動や
パトロールなど、さまざまな
活動をしています。その中

でも、交通安全運動の強い味
方となっているのが交通指導
員です。そして、その指導員を
今年の4月に退職するまで30
年間勤めた人間川在住の須藤
ウタ子さん。市民を交通事故
から守る交通安全街頭活動を
始め、子ども達を事故から守
る、小・中学校の登下校指導や
交通誘導整理、交通安全
教育活動などを中心に
活動を続けてきました。



子ども達の元気な声が30年間の活動の支えになりました

悲惨な事故が多発す
る現在の状況について、
子ども達のように30
年前から見守ってきた
須藤さんは、子どもの事
故で注意すべきなのは、
登下校時よりも一度家
に帰ってから、遊びに出
かけた後の行動です。特
に気になるのは、自転車
に乗っている子ども達
友達などと集団で行動
するときは、つい注意が
散漫になってしまう子
が多いのです」と自らの

経験をもとに話します。さら
に保護者の皆さんは、今の時
期登下校の時間帯に外に出
て子どものように見えてくだ
さい。小学校に上がったばか
りの子どもは、不慣れなうえ
に、急に一人での行動範囲が
広がるので、注意が必要です」
と子ども達を気遣いながら、
やさしく、そして真剣なまな
ざで語ってくれました。

これまでたくさん



交通安全のため共に歩んだ仲間たち

の子も達を見守つ
てきた須藤さんは、た
びたび「教え子」に声
をかけられることが
あるそうです。時に
は、教え子だった子が
交通安全教室に母親として参
加してくれたこともあり、母親
となったその子が子どもと一
緒に話を聞く姿に、自分の活動
が世代を超えて受け継がれて
いることを実感したそうです。
「事故をなくすために大事
なことは、基本的な交通ルー
ルを守ることに尽きます。し

かし、理解はしていても、なか
なか実践できない方が多い
ようです。大人がしっかりと
子ども達のお手本となるよう
行動しましょう。ま
た、人付き合いが希
薄になった現代だか
らこそ、子ども達を温
かい目で見守ってほ
しい」と交通安全の心
得を説く須藤さん。
交通ルールは学校などで、
どなたでも一度は聞いたこと
があるのではないでしょ
うか。それを守るかは、皆さん
の気持ち一つです。須藤さん
が持つ交通安全への強い思い
を私たちが受け継ぎ、一人ひと
りが事故のないまちづくりの
ために行動しましょう。

須藤ウタ子さん(人間川在住)

市の交通指導員として
30年間勤務

市民みなさんの声

オピニオン

設置が義務付けられた住宅用火災警報器 どんな効果がありますか

今月から、住宅用火災警報器の設置が各家庭に義務づけられると聞きました。火災予防のために、いいことだと思いますが、本当に効果があるのでしょうか。また、設置方法などの説明会や、各家庭で購入の参考となるような、警報器の見本を用意することなどが必要だと思います。



飯嶋文江さん
(青柳在住)

市の考え方

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。「住宅用火災警報器」は火災を感知して、音や音声でお知らせする装置です。その効果は、アメリカでは、住宅用火災警報器などの普及に伴い、住宅火災による死者数が約30年間で半減した実績もあります。

設置方法などは、自治会でやっている消防訓練などに職員が伺ったときに、詳しく説明をしています。また、広報さやまや市の公式ホームページでも詳しい内容をご案内しているほか、公民館や出張所などにもパンフレットを置いてありますので、ご覧ください。警報器の見本は、消防署と各分署で用意しています。

火災のない安全なまちづくりのために皆様のご協力をお願いいたします。なお、悪質な訪問販売にはくれぐれもご注意ください。

担当 予防課

皆さんの「声」をお待ちしています。
お寄せいただく際は、住所、氏名、電話番号をご記入ください。☎ 2954 6262(代)
Eメール koho@city.sayama.saitama.jp

自分の時代の印を持つのは嬉しいものです。皆さんも朱と白が織り成す芸術の世界をのぞいてみてはいかがでしょう。か。問合せ黒岩泰子さんへ

2952 0053

私の好きな景色...

サイクリングロード



私が好きな景色は、狭山ニュータウンのサイクリングロードです。この道には、桜やさまざまな草花が生えていて、一年を通じて、景色を楽しめます。また、静かで空気もよいので、心が安らぎ、住民の交流の場にもなっています。この桜は17年前、「地域の憩い



広見純子さん
(柏原在住)



の場を作りたい」と、一人の住民の思いが発端となって植えられました。これからの季節は、緑がきれいです。一度、散歩に来てみませんか。

四季折々の顔を見せてくれます 次回、根岸在住の方へ

Hello ハロー 仲間たち

Vol.298



広瀬篆刻愛好会

押印のとき正体となるよう印稿を鏡に映して、印材に文字入れ

私たちの広瀬篆刻愛好会は、公民館の講座がきっかけで、昭和63年に発足したサークルです。現在8名の仲間が広瀬公民館で活動しています。

篆刻は、漢詩などから語句を選び、篆書という古文字を用いて石に刻んで押したもので、小さくても、大きな書画にも勝る味わいを醸し出します。篆刻の工程で大切なのが、文字やその書体を選び、配置を決める印稿(原稿)を作ることです。まず字典を使って文字の時代や書体などを調べるのですが、その作業も昔の字の美しさや面白さを感じられる楽しいものです。その印稿を基に、一辺が数cmの小さな印材に文字を入れ、彫り上げます。最後に押印し、作品を完成させます。それらを文化祭、広瀬芸術祭、展覧会などに出品し、製作意欲を高めています。